

Material

田辺です。

前回に引き続き今回もレポートで所感をお伝えしていこうと思います。

「ダサイ」か「ダサくない」か・・・

この基準が優れている人は比較的何をしても成功しやすい傾向にあると思うのは僕だけでしょうか。僕は長年生きてきて、たくさんの人と出会ってきたわけですが、その中でも一般的に少し変わった基準があります。「ダサイ」か「ダサくないか」ということです。例えば、僕はお酒を飲む機会がよくあります。僕の懇親会に参加してくれて最後まで残ってくれた人はわかると思いますが、比較的酒は飲める方です。お酒の席で自分の許容範囲を逸脱し無理して飲んで吐いてしまったり、潰れてしまい他人に迷惑をかける。そのような結果は残念ながら僕の中ではダサイ。となってしまうと思います。もちろん、僕以外にも同じ感覚でダサイと思う人もいるでしょう。当然、女性の中の何割かもそう思ってしまうと思います。

この「ダサイ」か「ダサくない」か。という基準を自分の中で設定し、それに沿ったマインドをセットし生きていくことで、さまざまな判断を容易にすることができると思っています。他の例で話しましょうか。例えば、彼女の誕生日にヒルトンの鉄板焼きレストランを予約しようとして、その際に、通常コース、神戸牛コース、VIPコースがあったとします。バレないから大丈夫と思って節約のためにいちばん安いコースを予約する。特に誰かに何かを言われることはないと思うのですが、何かその行動自体がダサイと思います。別に他の理由があれば大丈夫なのです。VIPコースだと量が多すぎて食べきれない。日本における高い牛肉というのは脂が多すぎて彼女は好まない。というような、他の理由があれば何の問題はないのですが、彼女の誕生日に「節約のためにケチる」という行為がそもそもダサイということなのです。

このダサイの基準を自分の中で常に明確化し、ダサくない選択をし続ける。そうすることで、ある種のスタンダードというのが確率されていくのです。ネット上で情報発信している人やリアルにも生息している、「痛い人たち」というのはおそらくこのダサイという基準が驚く程低いか、もしくは、そもそもその事象がダサイかどうかなんて、考えたこともないんだろうなあと思うのです。

信念を持って生きていますか？

あなたは普段から何を基準に行動の良し悪しを決めますか？また、長期的な目標や人生の到達点を考えるときにどのような基準で選択するのでしょうか。自分の中に明確な信念がないと、ただなんとなく流されて生きていくことになります。上司が言うから。親や親戚が言うから。会社でみ

んなそうしているから。35歳を超えてきた今そろそろ結婚したいし、しないと会社で肩身が狭い。このように、人や環境によって人間の思想はかなりの影響を受けてしまいます。1年後、3年後、5年後、10年後、そして人生単位でどのような人間になってどんな人生を送りたいのか。ここが明確になっていないと、行動そのものがブレブレになってしまいます。

進化を忘れない

僕の信念の1つです。どんな場面、どんな行動をする場合にも僕の行動の基準で頭に浮かぶことです。明確な信念があると日常におけるさまざまな選択から、人生における大きな決断の際にも全くぶれることはありません。

例えば、僕が28歳の頃に渡米してロサンゼルスに住んだ時のことを思い出してください。ネットでビジネスを構築して日本に当時住んでいたのですが、日本じゃなくてもビジネスは運営できる状態でした。そこで、日本に残って現状維持の生活をするのか、アメリカに行ってゼロから英語を学ぶのか。と、いう状況を考えたときに日本に残って現状維持をするという決断は全くもって選ぶとは思いませんでした。なぜなら、全くゼロの状態でアメリカに行った方が成長できると思ったからです。

他にも、英語が話せる、海外で生活する、新しい環境に飛び込むなどなど、僕にとってはワクワクすることしかありません。だから、全く躊躇なくビザの準備を水面下で進め、あるとき突然「俺、アメリカに住む」と、周りの人間に告げ突然姿を消したのです。

継続する

他にもこんな信念が僕にはあります。先ほどの、アメリカの話です。アメリカに住んで2年経った頃、僕はすでに英語がそこそこ話せるようになっていました。アメリカ人の彼女もいて一緒に住んでいたのもあるのですが、人は環境に適応するものです。

そんなときに、僕のコアからメッセージが出てきます。メッセージというか、普段の生活をしていると心がモヤモヤしてくるのです。そして自分と対話していくことで自分の進みたい道が明確になるのですが、自己と対話した結果、この状態でアメリカに住み続けても自分にとって成長はないだろうというような違和感でした。

なので、そこからどうしようか考えて行った結果、「よし、次は中国語を話せるようになろう」と決めました。決めたら早いです。彼女と別れ、日本に帰る手続きをし1ヶ月後には、車を売り家を解約しアジアに戻ってきたのです。

そこからは、台湾に5年住み、その後、英語と中国語をひっさげて世界一周の旅に出たわけです。

成功と素材集め

ここで少し別の角度から話しを進めていきましょう。人は皆成功したいと願っています。世の中にはたくさんの自己啓発セミナーや成功法則が出回っています。僕の中でも、自分の経験に照らし合わせて構築してきた成功法則というのがあります。例えば、あなたが恋愛活動において成功したいと願っているとしましょう。恋愛活動での成功というのは好きになった女性を彼女にする。と、仮定します。

その場合、あなたがターゲットの女性を定めた後どのようにしてアプローチするでしょうか。おそらく、今現在あなたが持っている恋愛に関する知識を総動員させて戦略を練り、目標に向けて行動していくと思います。デートで使う店を選んで、LINEで約束を取り付け、デートでどんな会話をしようか考える。帰宅してからどんなLINEを送ろうか。送って返事がない場合はどうしようか。など、女性とデートを進めていく上で色々と考えながら接していくと思いますが、これだと少し行き当たりばったり過ぎて確率的には低いです。

もっと、確率を上げるためには成功するための設計図を明確に描き上げる必要があります。先ほど挙げた例で言えば、現在あなたができることだけにフォーカスしているに過ぎません。多くの男性は、いまの自分にプラスしてテクニックのようなものを身につけて女性を口説こうとします。

この考えがそもそも恋愛を難しくしている原因なのですが、テクニックだけで口説ける女性には限界があります。だからもっと俯瞰レベルを上げる必要があります。どうしたら、より自分が狙った女性、レベルの高い女性があなたのことを好きになってくれるのかと。この問いを長い時間かけて自分に課した男ほど、より女性にモテる男になっていきます。

女性から尊敬される要素はありますか？

あなたは女性から尊敬を勝ち取ることができる要素を兼ね備えているでしょうか。そもそも、女性がどんな要素を持っている人を尊敬の対象として見るのかを知っていますでしょうか。成功を勝ち取る人間に共通して言えることなのですが、1つのことを深掘りするのが上手で、さらにそのことについて、普段生活しながらずっと考えている。ということが際立ちます。

先ほど話した恋愛における細かいテクニックはもちろん重要です。今回話していることはテクニックを使いこなす男の土台の話です。「女性から尊敬される要素が0でテクニックを10覚えた男。」「女性から尊敬される要素が10でテクニックを10覚えた男。」どちらが女性から好かれやすいでしょうか。当然、後者でしょう。

成功と原因の関係性

成功というのは1つの結果に過ぎません。では、成功確率を上げるためには何をすべきなのでしょう。それは、原因を改善することです。恋愛で当てはめるとわかりやすいかと思います。テクニックが同じであれば、女性から尊敬される要素、魅力的な男と思われる要素を増やすことで、その確率はより増えるといいました。では、どのようにそれらを獲得していけばいいのでしょうか。

まずは、女性が尊敬する要素、魅力的な男と思う要素を調査します。調査の仕方は普段接している女性に直接聞いてもいいし、女性と接点がたくさんあり女性に詳しい男性に聞いてもいいでしょう。ネットで女性の書き込みやお金を使う事柄を調べてあたりをつけてもいいでしょう。

このように、さまざまな角度から女性とはどういう生き物で、何に対して尊敬の念を抱いて、何に対して魅力を感じるのか。これをとにかく自分が腑に落ちるまで調べます。そして、出てきたものをピックアップする。ピックアップしたものが獲得することで女性から尊敬される、魅力的と思われる要素です。

これが、成功を獲得する際、必要な素材です。獲得する素材と獲得の仕方が分かれば後は、成功を目指すのではなく、それぞれ細分化して出てきた素材を一生懸命集めていくだけで、自然と成功するという構図です。

では、それをどのように獲得していけばいいのか。どの順番で獲得していくのが効率的なのか。次に、順番を決めそれぞれ長期的に見て獲得していく。そうすることによって、あなたが計画した成功の設計図を完成させるための素材を集めることができます。素材を集めれば自動的に成功は手に入るのです。恋愛テクニックを学ぶだけでは彼女にできる女性に限りがあります。テクニックを使う土台の部分をもまずは強固なものにして、そこからしっかりと技術的なことを使えるようになる必要があるのです。

受講者からの一言

数年前、東京の新橋でメルマガ読者を対象にした懇親会を開催したことがあります。その中には、以前から僕のセミナーを受けてくれて面識がある人もいれば、初めて僕と会う人もいました。その中の1人が放った言葉が今でも印象的です。「田辺さん、反則ですね」。というのです。「どうしましたか？」というと、どうやらその受講者から見ると僕はそこそこ見た目が良くて、そんな見た目ならモテるの当たり前じゃないですか。ということをお話していたのです。

僕はその人の話を聞いて、「ああ、全く本質がつかめていないんだなあ」と感じてしまいました。そもそも、僕はメルマガや教材、書籍もそうですが、僕しかできないことではなく、僕のクライアントが結果を出してきたことにスポットライトを当てて話しています。恋愛経験が少ないクライアントが学ぶという前提ですべてのコンテンツを作っているのです。僕の見目は正直関係ないのです。

そして、僕自身、外見で女性にモテようと思っっているのではなく、先ほど話した女性が魅力的に思う要素を調査しそれを長い年月をかけて順番に獲得していったに過ぎません。女性であれば異性

から好かれる要素の大部分が見た目の美しさです。しかし、男性は異性にモテるために必ずしも外見が特別よければいけないということはないのです。

もちろん、外見が良いことに越したことはありません。しかし、それは1つのオプション的要素であり、女性が男に惚れる要素は他にも沢山あるのです。ぜひ、あなたなりに女性が魅力的に思う要素を気のすむまで調べ、長い年月をかけてそれを獲得していくことを実践してみてください。5年後、10年後、必ずそれは結果として反映され、あなたの人生を大きく変えてくれることですから。

田辺祐希